

ゼロカーボンは地域課題を解決 ～立場や関心を超えた共感へ～

【市民・地域共同発電所全国フォーラム2023in京都】
20231119

NPO法人上田市民エネルギー
理事長 藤川まゆみ

NPO法人上田市民エネルギー 理事長 藤川まゆみ

広島県福山市生まれ
2005年から長野県上田市在住

＜上田市民エネルギーの活動 3つの柱＞

- ① 市民出資型太陽光発電「相乗りくん」
- ② 持続可能なまちづくり「上田リバーズ会議」
- ③ 断熱ワークショップ

だれでも参加できる 市民出資型太陽光発電 **相乗りくん**

3.11がきっかけとなり2011年11月事業スタート



相乗りくんは顔の見えるつながりで自然エネルギーを増やす仕組み

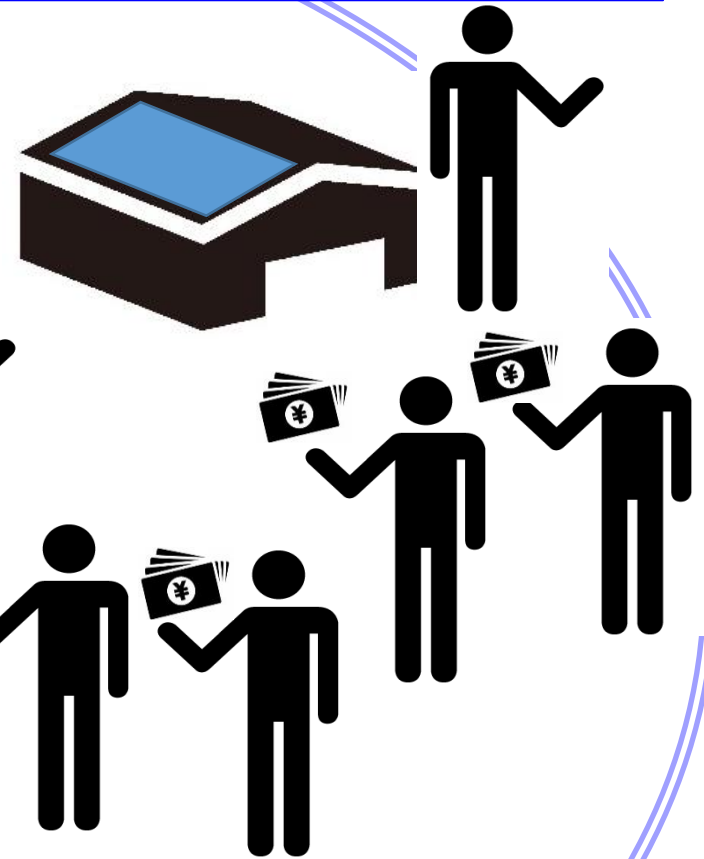
初期費用なしで、
安くてクリーンな
自然エネルギーが使える！

屋根オーナー



パネルオーナー(出資者)

相乗りして売電収入を得ながら
自然エネルギーを増やせる！



きょうまでに相乗りくん発電所は72カ所 約960kW

住宅：45件



上田市柳町岡崎酒造



東御市古民家シェアハウス



安曇野市たまごの駅



信州大学繊維学部



リコージャパン上田事業所



諏訪市
リビルディングセンタージャパン



上田市立第四中学校



上田市塩田
ソーラーシェアリング



対象エリア：上田を中心に車で1時間半

パネル設置でZEB Ready から Neary ZEB へレベルアップ

リコージャパン上田発電所

2023年4月12日発電開始 15kW



出資者の声



柳沢一樹さん
神奈川県鎌倉市

相乗りくんに参加することによって、上田にりんごの収穫に赴いたり、生活に幅が出来たと感じています。

わたしは屋根がないので参加しました。みんなでシェアしている感覚が楽しいです。



鳥居希さん
長野県坂城町

市民出資総額 1億8500万円

全国どこからでも10万円から出資できるエネルギーアクション



柴垣芳美さん
長野県中野市

銀行に預けるより使い道がわかって気持ちがいいし、売電収入もちっとお得♪

自分の使う電気の100%以上の自然エネルギーを生み出している安心感は何とも言えません。



駒崎茂さん
埼玉県川口市

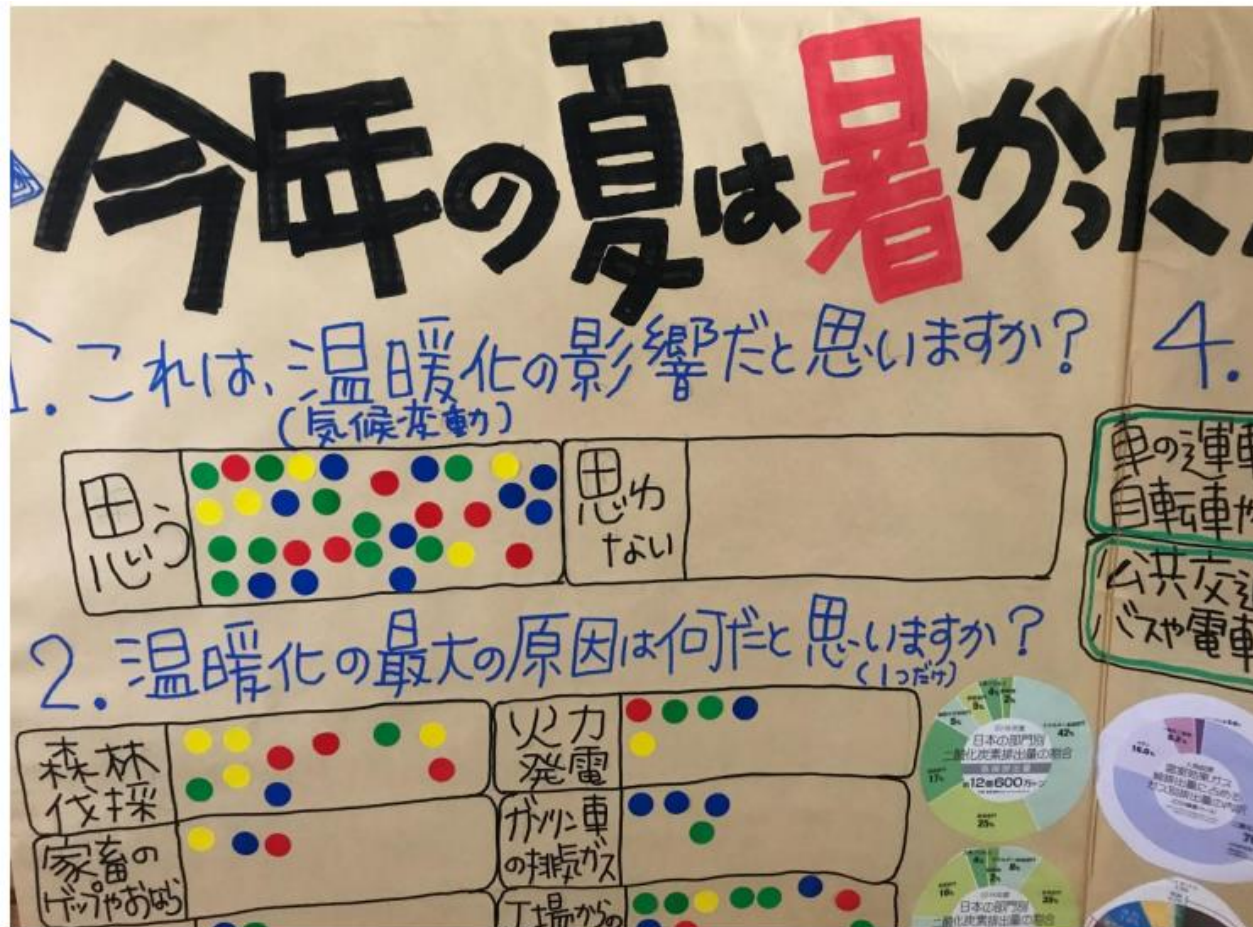
12年間相乗りくんをやってきてわかったこと
一歩踏み出した人はエンパワメントされて
次の一歩に進む



検索：YouTube 相乗りくん参加者インタビュー

相乗りんくん8年目

2018年猛暑 上田市民は気候変動を確信



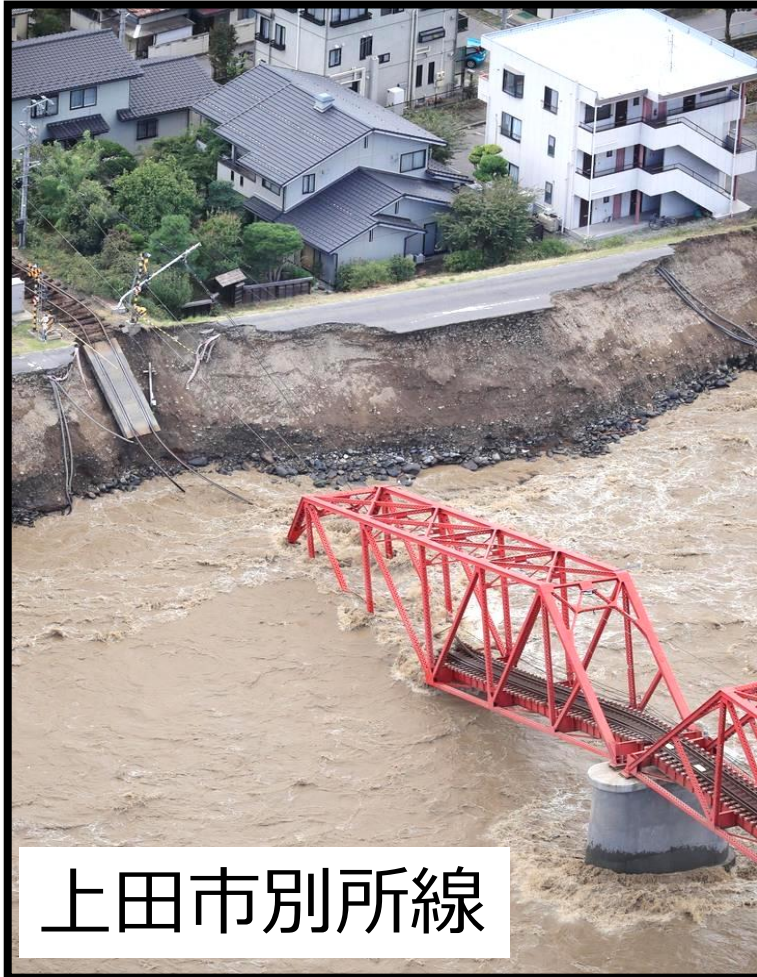
愛知県の小学1年生が熱中症で死亡したことがきっかけとなり、翌年、一斉に全国の小中学校の教室にエアコンが設置された。

2018年7月西日本豪雨

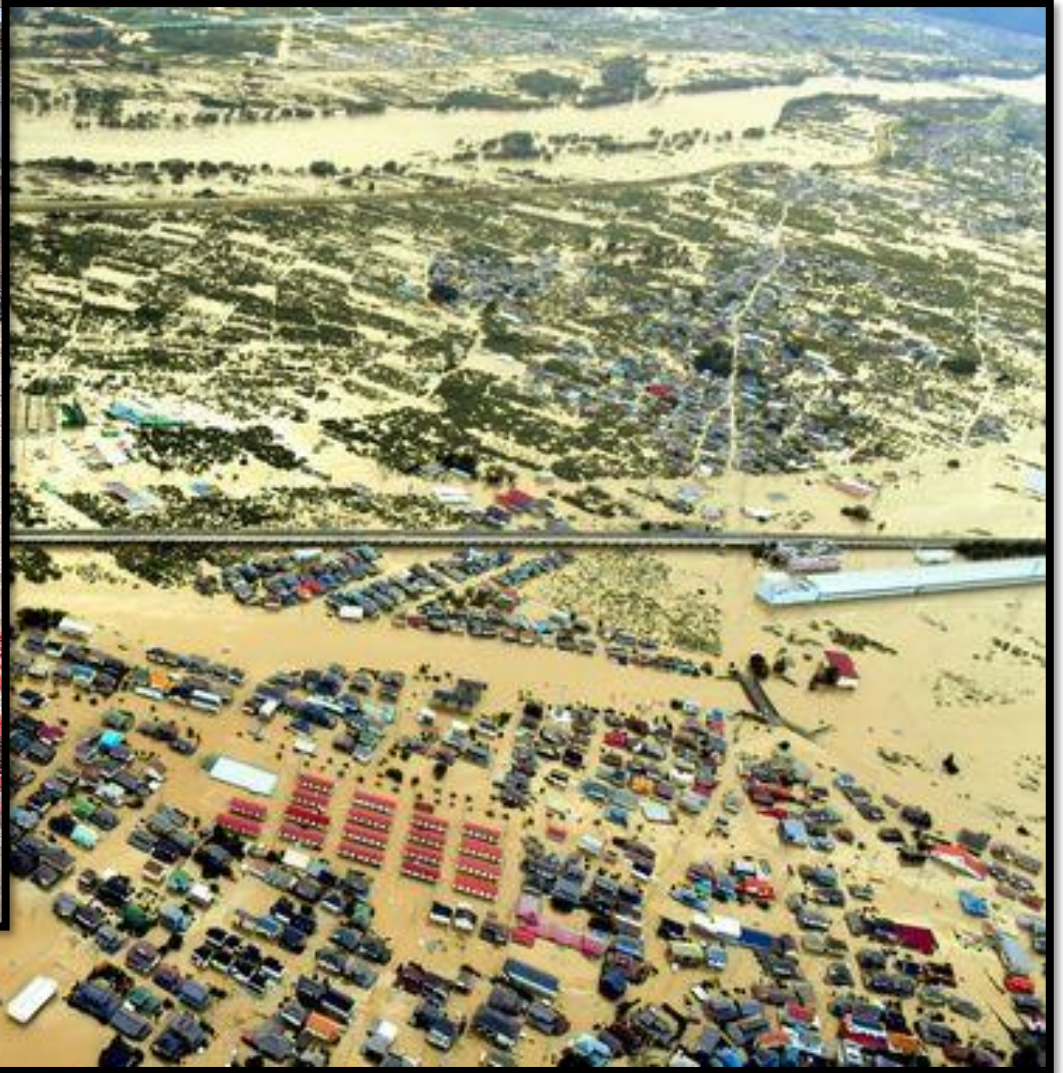
岡山県真備町



2019年台風19号



上田市別所線



長野県、千葉県、福島県、、東日本の広い範囲

2020年熊本豪雨 球磨川氾濫



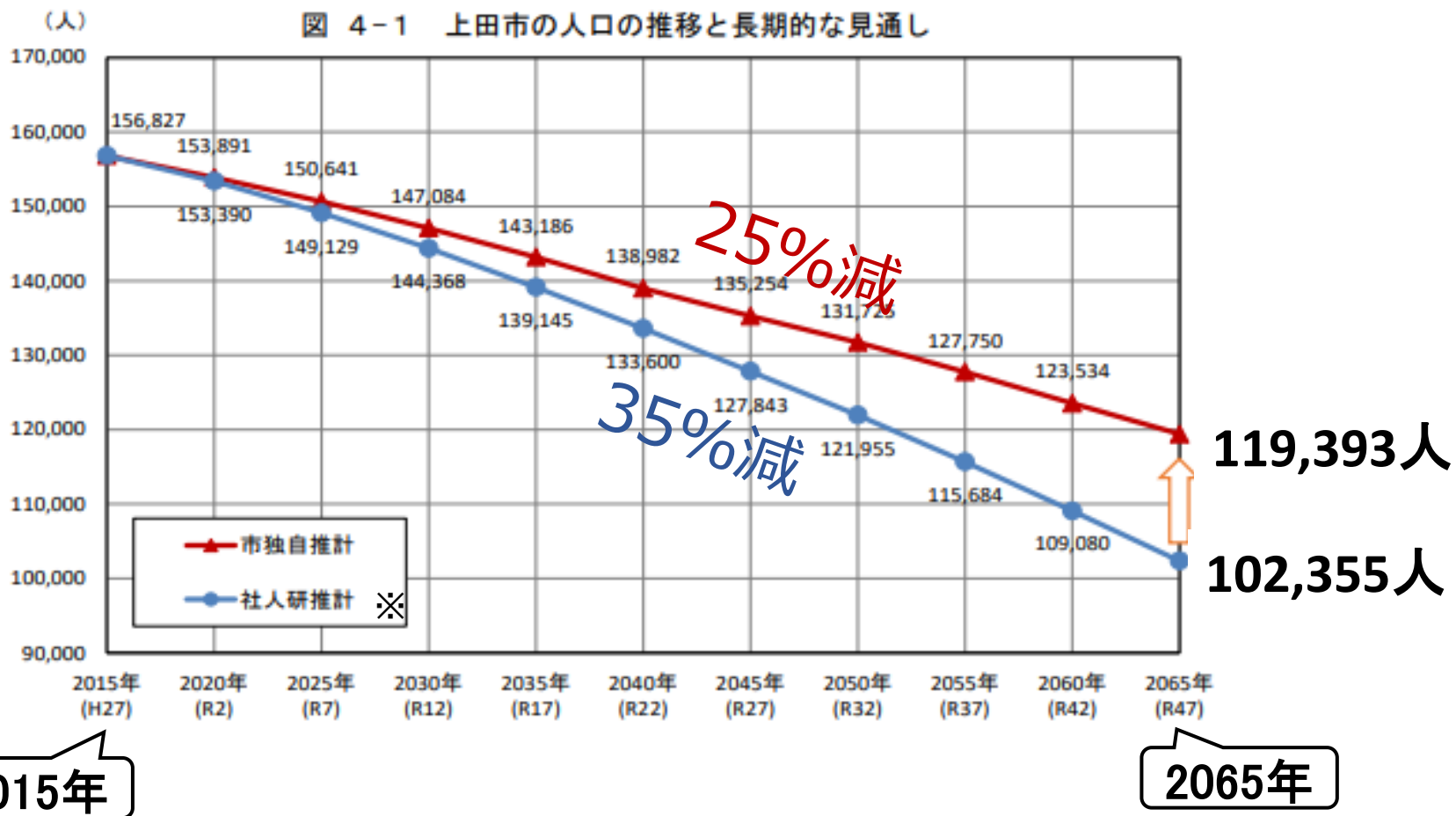
な、なにかもっとやらなくちゃ

上田市の各種計画から データを150以上集めて 眺めてみました

都市計画マスタープラン
中心市街地活性化基本計画
公共施設白書
立地適正化計画
人口ビジョン
など、

自治体の計画の冒頭にその時点での新しいデータが満載

上田の人口が減っていくことは確実



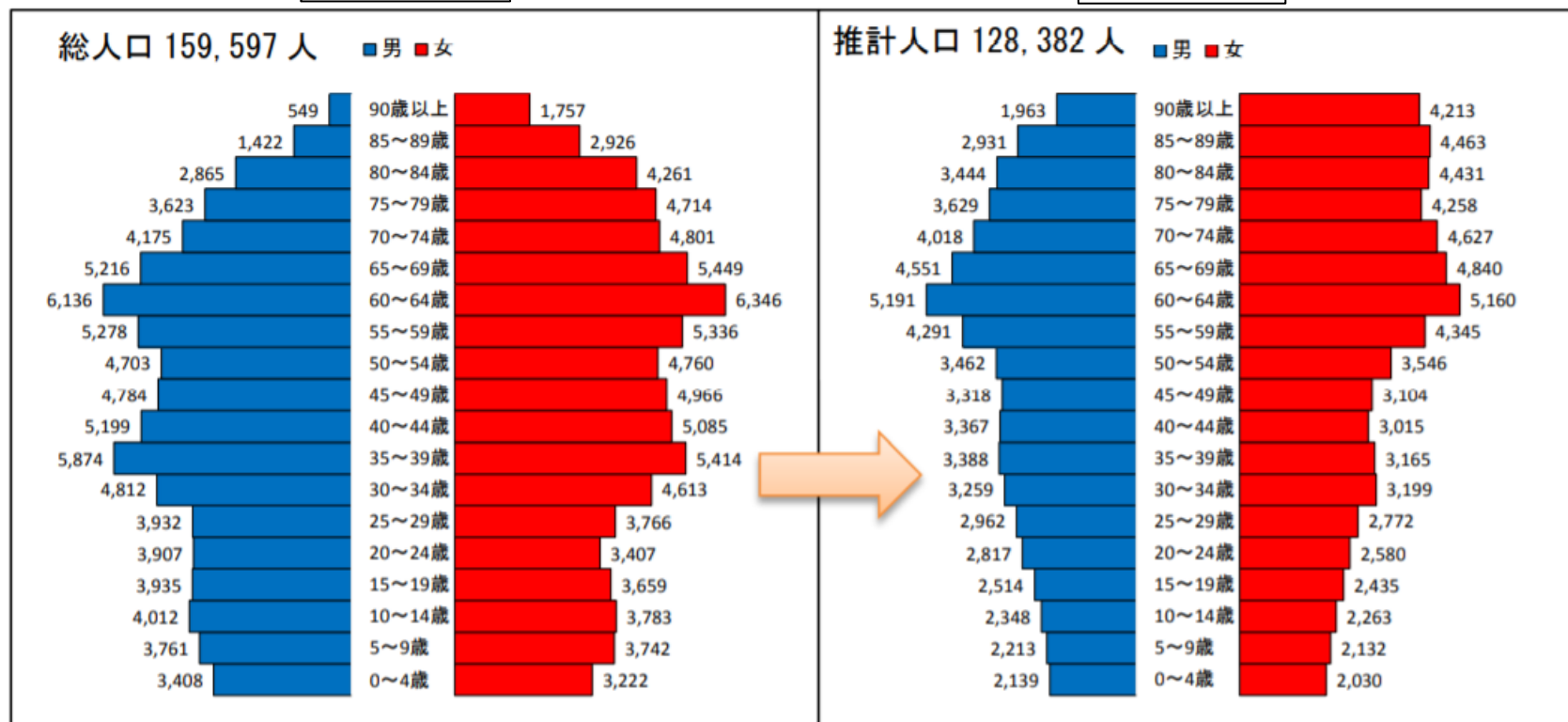
※社人研: 国立社会保障・人口問題研究所

上田市版人口ビジョン 令和2年3月改訂

上田は超高齢化社会になることも確実 (高齢者 = 65歳以上)

2010年

2035年



2010年10人に2.6人が高齢者

2035年10人に4人が高齢者

上田市立地適正化計画

上田のまちなかは今、

中央北
交差点

スポンジ化!

駐車場

上田高校



中心市街地の店舗の販売額は低下しています

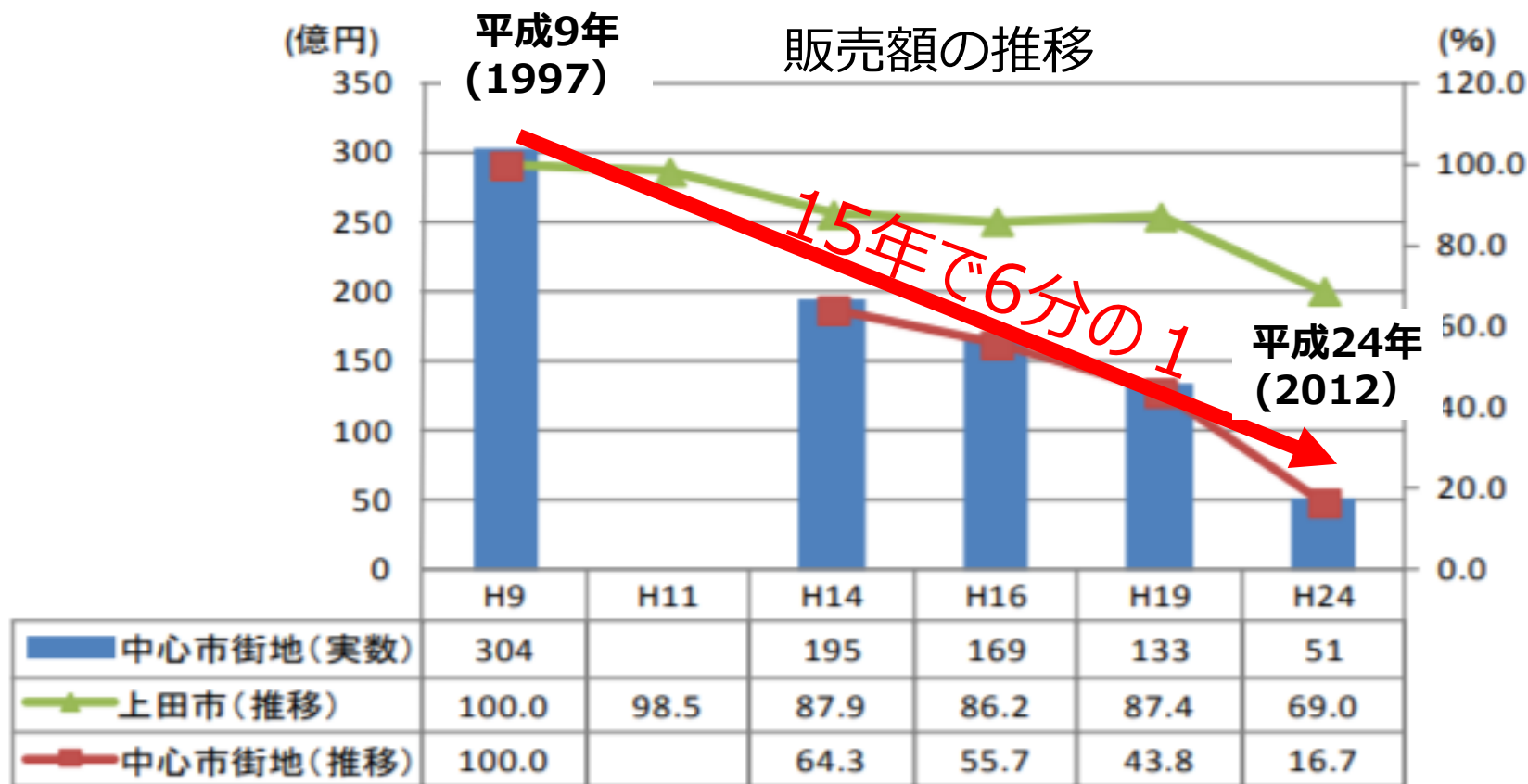
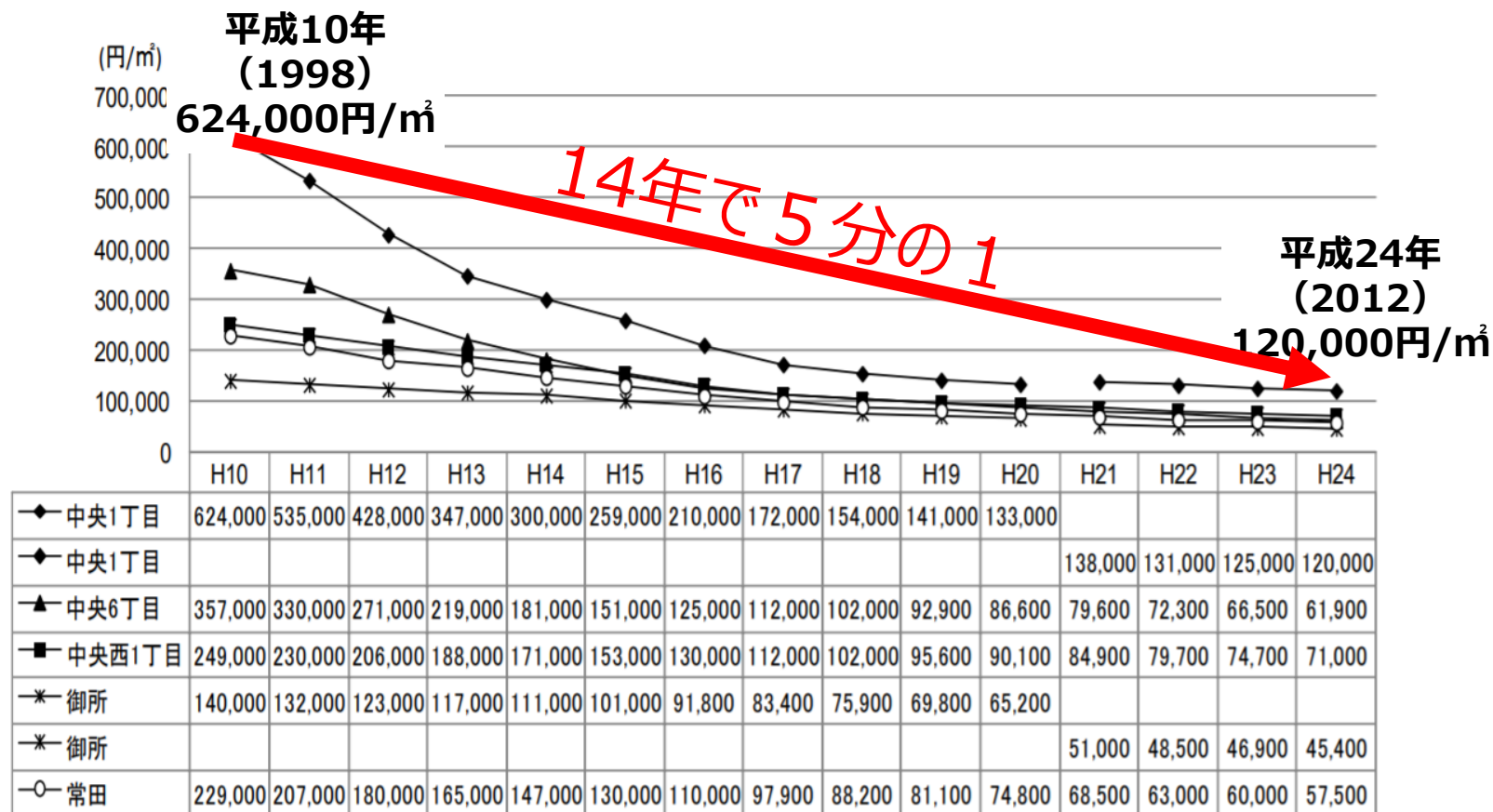


図11 年間商品販売額の推移(資料:商業統計・商業センサス)

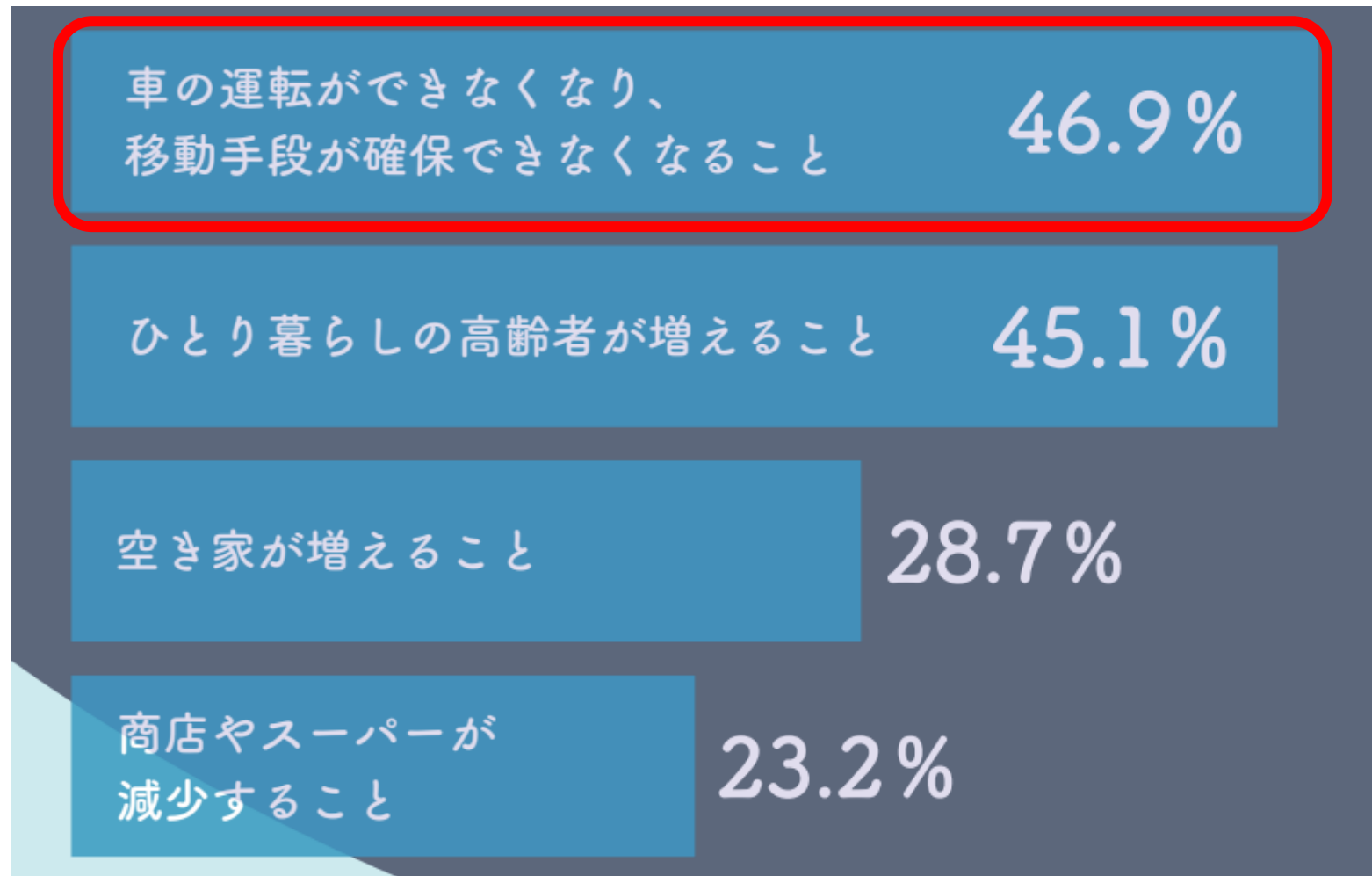
中心市街地の地価は下がり続けてきました



地価の推移

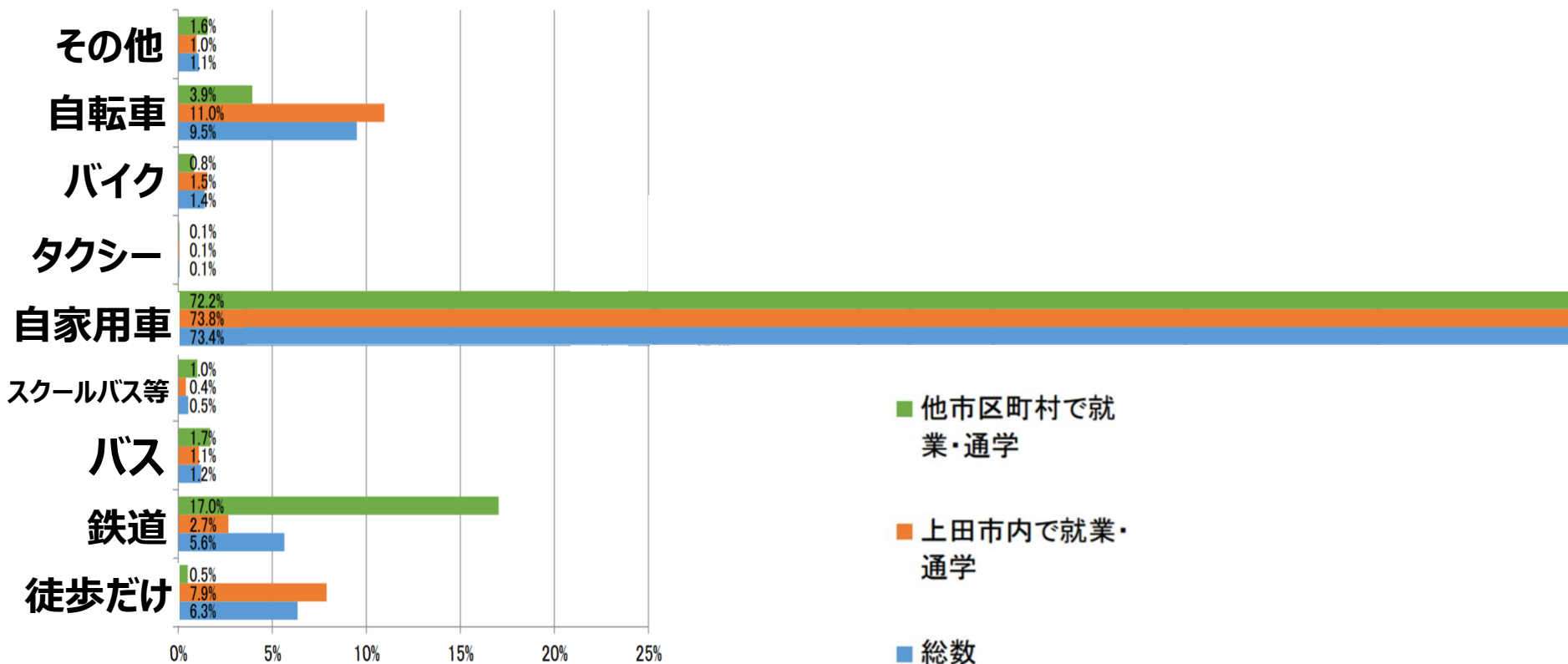
上田市民の最大の不安は？

Q：少子高齢化、人口減少が進む中であって、今後、上田市で暮らしていく上でどのようなことに不安を感じますか？（2つまで）

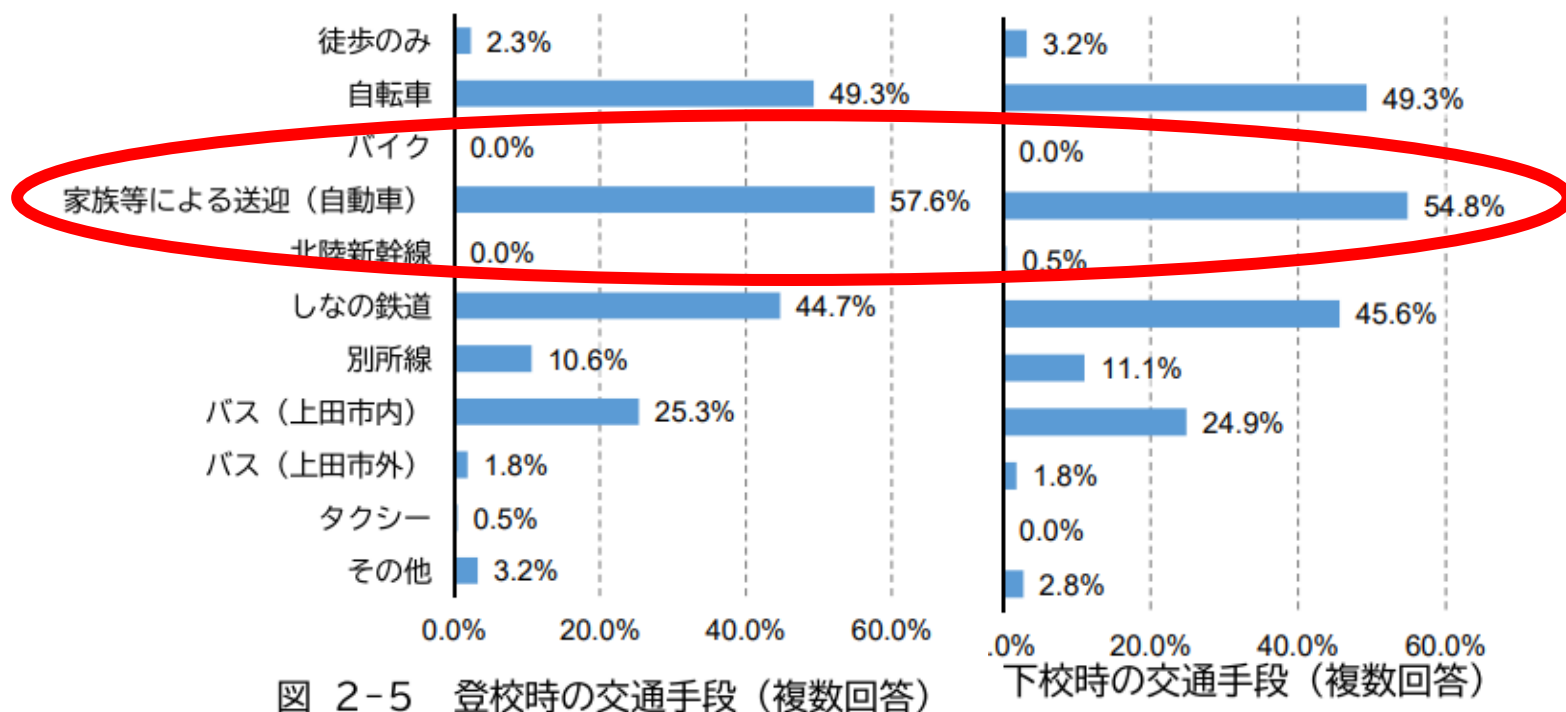


上田市住民アンケート（2019 年 10 月）より

上田市民は自家用車で通勤通学



上田市内の高校生の57.6%が 家族の自家用車の送迎で通学

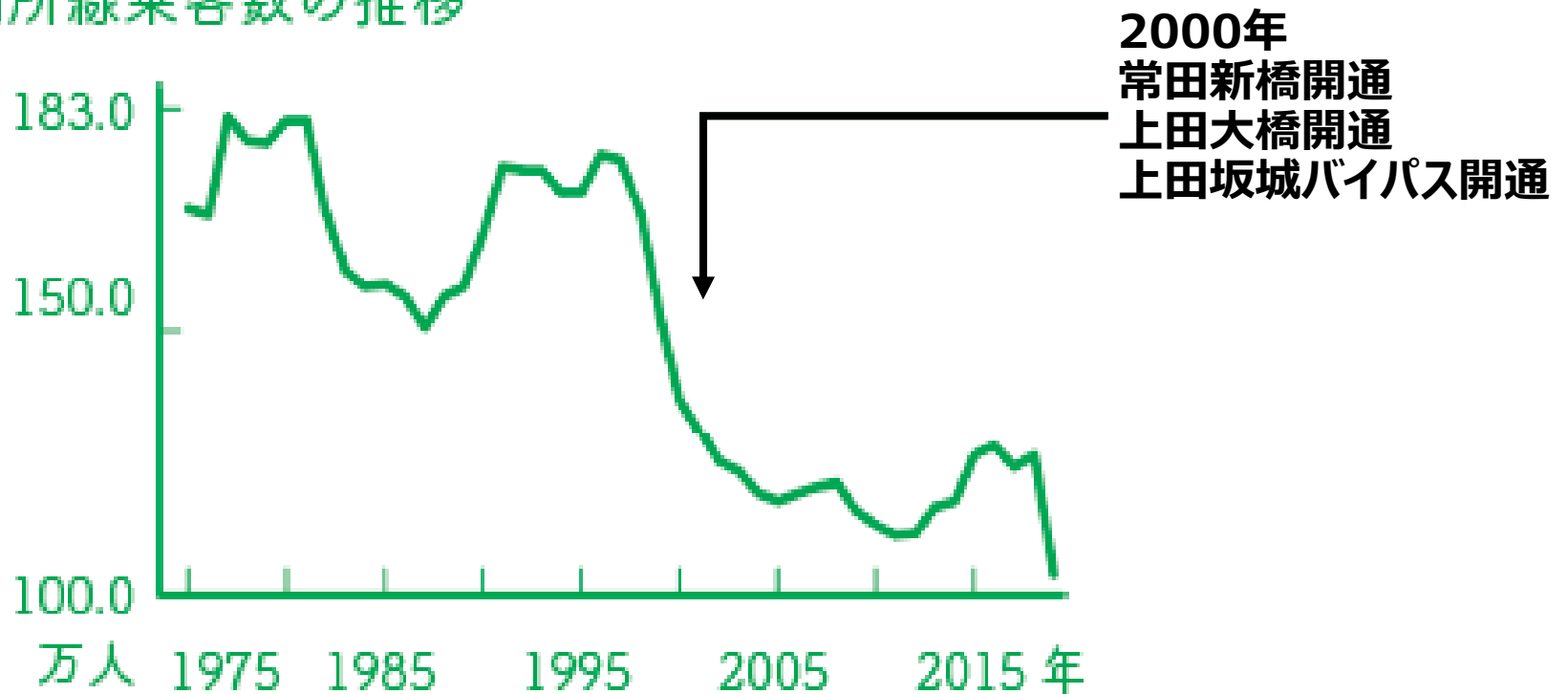


2022年2月調査

資料) 上田市公共交通活性化協議会令和4年度第1回資料

公共交通の衰退、、、

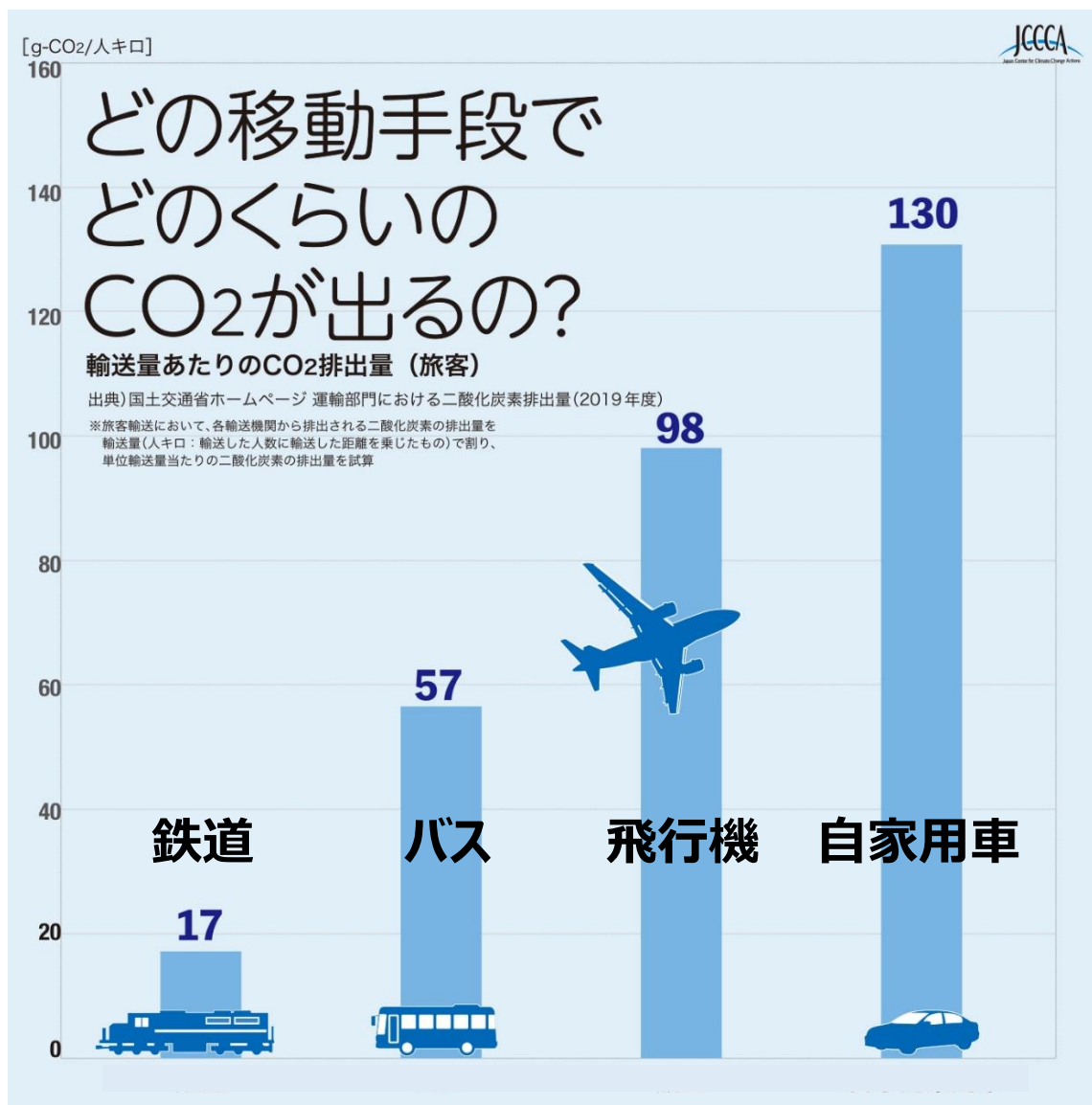
別所線乗客数の推移



車の利便性向上と連動している、、、

自家用車、ゼロカーボンのには・・・

1人を1km移動させる時のCO2排出量比較



まずい
上田は持続不可能だ

Reverse

リバース 逆転、流れを逆転させる

Rebirth

リバース 再生、上田を再生させる

上田を **Reverse逆転**させて、**Rebirth再生**させよう！

＜上田**リバース**会議＞

立場の垣根を超えた学びと対話の会

市民、行政職員、議員、企業、金融機関、大学生、高校生

2021年よりこれまでに18回開催
延べ約2,000人以上が参加

地域を持続可能にする効果の高いテーマを選ぶ

2023年度 上田リバーサ会議
～みんなで考える
「持続可能な上田」のつくりかた～

参加無料
要予約

**交通まちづくり
シンポジウム**

公共交通が持続可能であれば上田も持続可能ではない
「交通が先か、まちづくりが先か、森と山の関係、まずは森をたくさん通んできれ
る道を育てよう」。公共交通を軸としたまちづくりは地域を元気にする鍵をたくさ
ん生み出してくれそうです。ところが現在、公共交通利用者は減少し継続の危機、どう
すればいいのでしょうか？

2023年
3月18日(土)
14時～17時
上田映劇&オンライン

交通まちづくり

2023年度 上田リバーサ会議
～みんなで考える
「持続可能な上田」のつくりかた～

参加無料
要予約

**Walk
Bicycle
Bus
Train**

公共交通に乗りたくなくて
リバーサ！

ゲスト
谷口綾子さん
筑波大学システム情報学
科准教授

2023年
7月31日(月)

モビリティマネジメント

2023年度 上田リバーサ会議
～みんなで考える
「持続可能な上田」のつくりかた～

参加無料
要予約

**森林
まちづくり**

持続可能な森林経営によって、市民は森を楽しみ、
若者は森林の仕事に魅力を感じ、地元の木材利用も進みます。
災害防止や温暖化対策にも大きな効果があります。

実例があります。ドイツ、そして岐阜県高山に

講演会「森林まちづくりのリバーサ」

ゲスト
長瀬雅彦さん
岐阜県高山市・森づくり推進課
長瀬雅彦さん
ドイツ・バイエルン州・林業政策局

森林まちづくり

2023年度 上田リバーサ会議
～みんなで考える
「持続可能な上田」のつくりかた～

第1回
**上田まちなか
デザイン会議**

子どもの声が聞こえる、魅力的な店主が多い、行く用事がたくさんある、緑が多い、公園やベンチもある、歩行者に優しい、いろんな移動や交通手段がある、歩行者天国やマルシェをやっている、ワクワクしてそこで過ごしたくなる、そんな魅力のある「まちなか」

1
会
定
1
エリアビジョン

参加無料 要予約

2023年度 上田リバーサ会議
～みんなで考える
「持続可能な上田」のつくりかた～

全7回
第5回: 11月20日(日)
15:00～17:30
上田映劇&オンライン

知恵と災害

いつまでもあると思うな
親と公共施設、
ないと思うな

参加対象
上田市内で居住、通勤、
通学、事業活動、
市民活動をしている方

公共施設老朽化

やってみてわかった/みんなエネルギーより地域づくりに関心がある

地域を持続可能にする効果の高いテーマを選ぶ



どれもゼロカーボンと関係があるけどあえて言わない



やってみてわかった/みんなエネルギーより地域づくりに関心がある

1回に100～200人の参加
上田市職員は毎回30～40人



2022年上田市の温暖化計画改訂に合わせて ゼロカーボンをテーマに4回開催

**2022年度
上田リバーサ会議**
～みんなで考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

全7回

猛暑、集中豪雨、巨大台風、雪不足……。上田に住みながら気候変動の加速を実感する時代。2030年までのCO2削減量が地球の未来を決定します。今年度上田市はゼロカーボン戦略を策定中。同時並行で市民もゼロカーボンについて学び対話しましょう。

ゼロカーボンはまちづくりです。
上田リバーサ会議はこれまで「持続可能な上田をみんなでつくるために、立場の垣根を越えて対話を積み重ねてきました。今年度第1～4回はまちづくりの視点でゼロカーボンを取り上げます。

第1回 8/19(金) :18:30～21:00 オンライン開催
**ゼロカーボンを実現した
上田ってどんなまち?**
講師 田中信一郎さん(千葉商科大学基礎教育機構准教授)

第2回 9/27日(火):18:30～21:00 上田映劇&オンライン
**2050ゼロカーボン
上田への道**
講師 茅野恒秀さん(信州大学人文学部准教授)

第3回 10/11(火):18:30～21:00 上田映劇&オンライン
**とはいえゼロカーボン、
できない理由を
あげてみよう!**

**第4回 10/25(火):18:30～21:00
上田映劇&オンライン**
**みんなのゼロ
カーボン会議うえだ**

参加対象
上田市内で居住
通勤、通学、事業活動、市民活動をしている方

主催 上田ビジョン研究会 NPO法人上田市民エネルギー 一社)NECO
第3回第4回アドバイザー 田中信一郎さん・茅野恒秀さん

ゼロカーボン上田リバーズ会議

第1回 8/19 ゼロカーボンを実現した上田ってどんなまち？



講師

千葉商科大学基盤教育機構

田中信一郎さん

(2020年から上田リバーズ会議アドバイザー)

ゼロカーボン社会への認識の転換

「これまでの炭素文明は豊かでしあわせだった？！」

これまでの炭素文明は豊かでしあわせだった？

産業革命による社会変化

地域政策デザインオフィス
Local Policy Design Office

生産



大量生産

移動・輸送



高速移動

消費・立地



**都市集中
大量消費**

これってみんなが豊かでしあわせ？

田中先生第1回上田リバーサ会議資料より

2時間半後 参加者の認識の変化 「ゼロカーボン社会」のイメージ



会の冒頭

「好きな時間に電気を使えない」
「車に乗ってはいけない」
「食べものをたくさん作れない」
「好きなところに住んだら怒られる」

会の終了時

「暮らしの選択肢が増える」
「近所の店が残る」
「健康的になれる」
「人権が大事にされる」

ゼロカーボン上田リバーズ会議

第2回9/27 2050ゼロカーボン上田への道



講師

信州大学人文学部

茅野恒秀さん

2030年CO2削減目標の算出方法

「地域のゼロカーボンにできること」

解説：長野県の2030年CO2削減目標60%はこうつくられました

バックカスティングの発想で策定された 長野県ゼロカーボン戦略（2021年6月策定）

基本
目標

社会変革、経済発展とともに
実現する持続可能な脱炭素社会づくり

数値
目標

二酸化炭素を含む温室効果ガス正味排出量を
2030年度 **6割減** 2050年度 **ゼロ**を目指す

➤ 再生可能エネルギー生産量

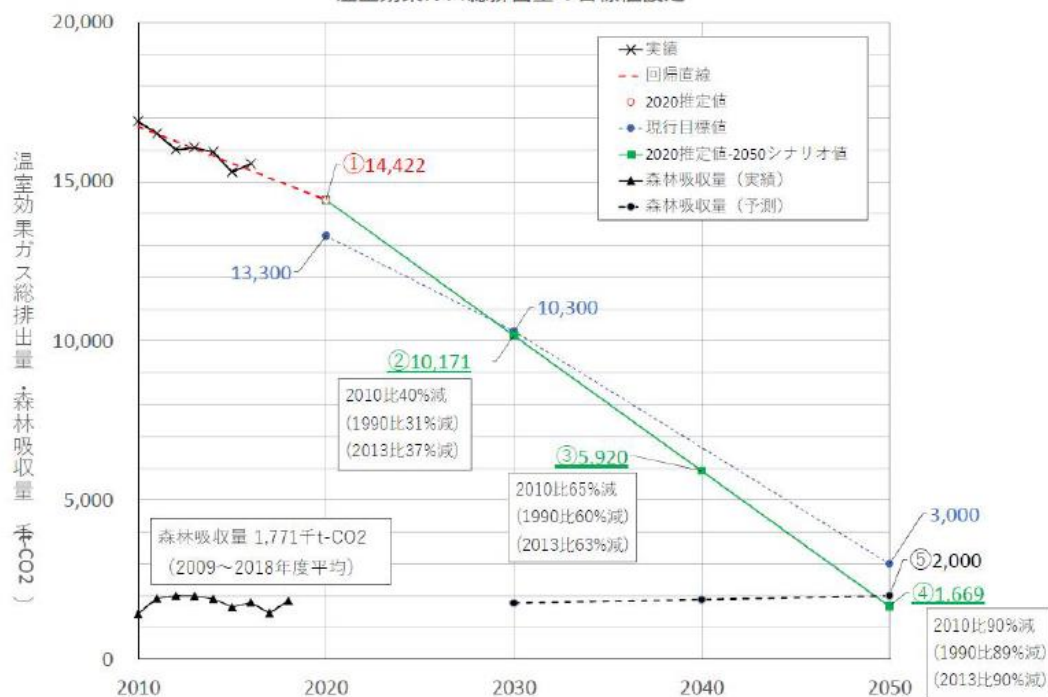
2030年度までに **2倍増**、2050年度までに **3倍増**

➤ 最終エネルギー消費量

2030年度までに **4割減**、2050年度までに **7割減**

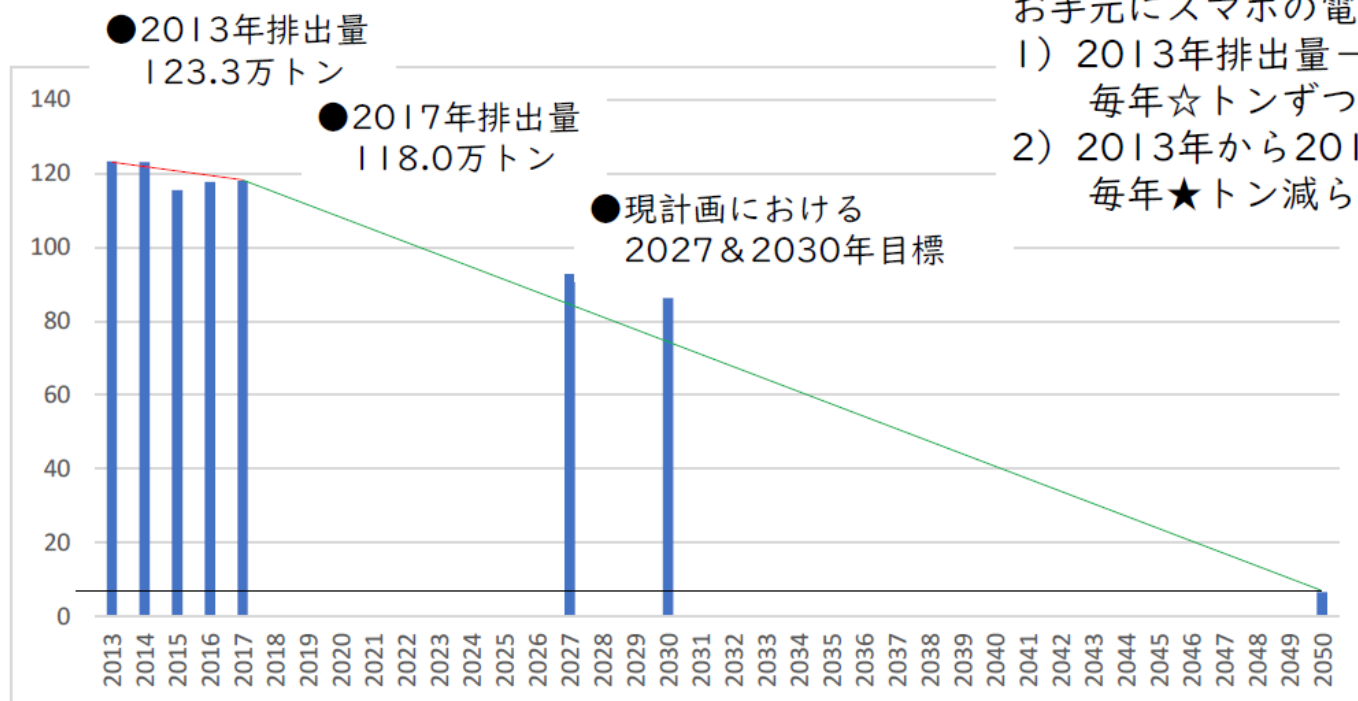
※ いずれも2010年度比

温室効果ガス総排出量の目標値設定



解説：上田市も長野県と同じ算出方法だとこうなりますね

考え方の整理（イメージ）



お手元にスマホの電卓がある方は：

- 1) 2013年排出量－2050年森林吸収量
毎年☆トンずつ減らす必要がある？
- 2) 2013年から2017年にかけて
毎年★トン減らせている？

答え：

- 1) 37年間
毎年3.15万トン以上
- 2) 4年間で平均
1.325万トン

- ・ 現計画（上田市地球温暖化対策地域推進計画）の数字から2013-2017の排出量を提示。
（森林吸収量を加味した正味排出量ではないので、あくまでイメージとして）
- ・ 2050年の森林吸収量は上田市の現計画の数値を援用した。

きょうの参加で上田のゼロカーボンの目標についてどう思いましたか？

47人の回答

● 実行してみないとわからない (5人)

● がんばるべきだができる範囲で
やればいい 6.4% (3人)

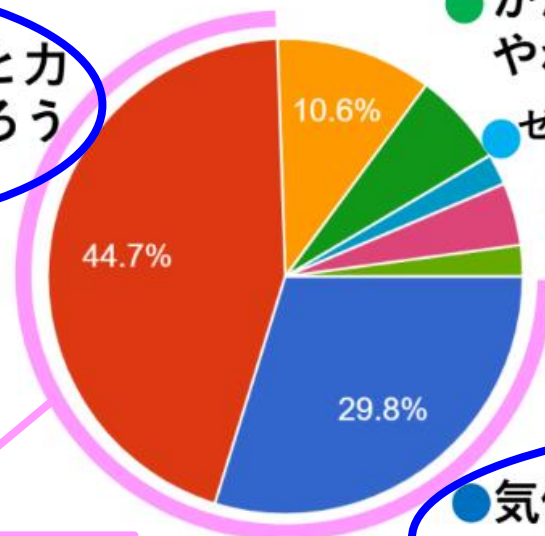
● ゼロカーボンの実現は無理あきらめよう (1人)

● 分からない (2人)

● 自由記述) すべての人が「立ち止まっていられない」
危機感を持たなければ達成は無理。リバース会議に
参加している人数はあまりにも少なすぎる。
ではどうしたら？が分からないんです。
(1人)

● 気候変動を止めることを前提に
目標を立てるべきだ
(14人)

● 目標は高いが知恵と力
を合わせてがんばろう
(21人)



74.5%

の人が高い目標に賛同

ゼロカーボン上田リバーズ会議

第3回10/11 とはいえゼロカーボン、 できない理由をあげてみよう！



講師
信州大学人文学部
茅野恒秀さん

できない理由が解決のカギ
「誰もが解決方法を知っている」
～できないメソッド～

『できないメソッド』

できない理由から解決のカギが浮かび上がる

①ゼロカーボン、できないこと・やりにくいことはなに？



②なぜできない・やりにくい？（できない理由・背景）



③それはなぜ？（できない理由の理由・背景）



④じゃあ解決のカギは？

①ゼロカーボン、できないことは？ 回答114

[illegible]

②なぜできない？ やりにくい？ その理由・背景は？

回答110より抜粋

政策やそのねらいが多くの人に行き渡らない

環境より自分の身の回りの
快適さが大切

施設の更新に予算が必要

薪の確保の問題

充電スタンドが少ない

断熱効果のエビデンスが無い

お金がない

車でないと不便

鉄道やバスの本数が少ない

話が大きすぎるので、
個々の設定が見えない

改修費用が回収できるほど住めない

ゼロカーボンが自分の
生活とつながらないから

高齢だから移動が楽な

先祖代々受け継いだ土地

断熱化しにくい

自動車を使用してしまう

他の交通手段が不便

成果が見えない

できる業者を知らない

景観を損なう

今の車が好き

できればめんどくさいから考えたくない

脱炭素く日々の暮らし

建物の構造上、必要な時に使えない

集合住宅の場合、
住民のコンセンサが取
れない

具体的にどうしたらいいのか、
がわからない

荷重体力がない

暮らしが忙しすぎる

行政の予算が足りない

お得感がないと設置したくない

ジブンゴトとして危機が感じられない

既得権益

市民の意識が高まらない、職
員も議員も他のことで忙しい

バスや電車が近くを通っていない

設置する場所によって
反対運動をする人がい
る

メガソーラーに対する反感

廃棄のことが心配

土地利用の規制は簡単にできない

道路を作りたい人たちに行政が逆らえない

③できない理由のその背景にあるものは？

勉強不足／お金に余裕がある人しか選べない／どうしたら良いか何をしたら良いか分からない／今日のご飯が大事／いくらかかるかそもそもわかっていないイメージ先行／**周りでやってる人が少ない**／行動を変えるほど困っていない／**メリットがわからないから**／今困っていない／自分で考えなくてもそういう世の中になっていけば／『お金がない』の質的な差がある／知識がない。勉強したくない／行動する理由が明確になっていない／興味がない人に興味をもたせるのは無理／怠惰。現状を変えない側が多数派であることによる安心感／色々なことが複雑に絡み合いすぎている。（人付き合い、時間がない、お金がない、選択肢がない）／周りでゼロカーボンの取り組みをしてる人がいない／本当の意義を理解していない／ペナルティがないからやらない／何かを諦めるのではなくより良い暮らしを目指すための議論の場／（ペーパーレス化）理解しない人は初期費用という目先の負担のみを悪しきとするから／行動を変えなくてもすぐには困らないから／**日々の生活が苦しくてそこまで考える余裕が無い**／将来設計が年齢層で違う／他業種で働ける技術知識がない／地球温暖化が自分事になっていない／本当に生活に必要な電気が生み出せるのか？／雇用問題を解決出来ない／学ぶこと変化すること自体に余裕がない／行動する意味を理解していない／行動を起こさなかった時のリスクが理解していない／1人1人の気持ちにあまりに頼っているから／気持ちではなく仕組みを変えることが進んでいないから／例えば世の中の電気自動車をガソリン車より安くする仕組みにする（税制とか助成金とかで）／過剰包装の商品は販売できないようにするとか／①ゼロカーボン生活を未経験&②炭素文明の終着点を未経験／**みんなやってないのに自分だけ新しいことにチャレンジするのは不安である**／メリット<コスト(実態も感覚も)と考え判断しているから／初期コストが高い／優先順位が低い／「自分には関係ない」と思っていないか。自分に関係ないよく理解できないものに投資できない行動パターンを変えたくないということではないか？と思います／近くにバス停が無い、本数が少ない、お金が無い、年だから、家が古いからなど／対策への強制力がない／**対策の効果を実感できない**／周りに対策をしている人がいないから自分だけやるのは恥ずかしい

④じゃあ解決策は？ 21件

費用対効果を明らかにする

投資回収できる事業に公的資金を投入する

ある程度のまとまった人数で発注することでコスト減

"投資できる人と出来ない人の区分けエビデンスの明確化メリットとデメリットの情報開示投資スパンの明確化 利益はいつから出るのかグラフで示す"

義務化。有無を言わせない共産党的なやり方也需要。その成果は歴史が証明する
太陽光発電お試しレンタルをする

補助金や「知る機会」、「みんなやってる」を増やすといいかも

投資できる範囲で投資してみる（まずやってみる）

福祉施策は必須。ヨーロッパのように、権利として保障されるべき生活像を見直す。

PPAなど初期費用無しでも設置出来ることを周知させる。

“情報を手に入れる”。再エネ投資は所得控除する

再生可能エネルギーの利用にも住宅の断熱化にも再分配政策の仕組みを入れ、資金のない人は公的補助でカバーできる仕組みが必要。

法律により義務化する。

"政府や公共機関のサポート、教育、情報シェアの浸透"

ペロブスカイト太陽光電池など初期コストをグンと下げる国産のパネルへの助成、工場の誘致
消費税、社会保障費を無くす

太陽光発電を設置して得られるメリットやインセンティブが見える化する。

市町村が野心的な目標を持つ。（国がその行動をサポート）

市民の行動を、野心的な目標を持つ行政がサポート。（奨励、推薦） "

『できないメソッド』

「できない」と言っていていいよ！ いいの！？

「できない理由」も言っていていい！ ホントにいいの！？ ♪

なんとなくできないと結論づけて思考停止している
できない理由とその背景をはっきりさせると、
おのずと具体的な解決策が湧いてくる

ゼロカーボン上田リバーズ会議

第4回10/25 みんなのゼロカーボン会議うえだ シンポジウム



モデレーター
信州大学人文学部
茅野恒秀さん

もう始めている上田市内の野心的なファーストペンギンたち



日置電機
岡澤社長
久保田常務



工務店
クボケイ
窪田社長



長野大学
2年
五十嵐さん



上田市民
エネルギー
藤川



土屋市長



御社にとって上田市のゼロカーボン計画はどう関係がありますか？
 →「もしこの地でCO2を出さない事業ができないなら、我々は上田を出ていかなくてはなりません」

1月17日
「上田市の温暖化計画」
みんなで読んでパブコメを書く会

主催：上田ビジョン研究会

協力：市政をたのしむユニット：ゆるりと◎

2023年3月発表

上田市

**2030年CO2削減目標
57%(2013年比) !!**
(長野県60%2010年比と同等)



パブコメ142件のうち34件が反映

上田リバーバス会議から生まれた成果

○参加者の共感・意識の変容

○市議会の答弁に「『交通まちづくり』を市民と一緒に進める」

○市長選の争点として「公共交通」を地元新聞が取り上げる

○上田市の2030年までのCO2削減目標が全国的にもレベルの高いものに（57%削減・2013年比）

○都市計画マスタープランへの好影響

○藤川が長野県交通政策局研究会の構成員に。

○上田市が環境省脱炭素先行地域事業に選定
市民参加の「交通まちづくり」が事業の柱に

上田リバーバス会議から生まれた成果

○参加者の共感・意識の変容

○市議会の答弁に「『交通まちづくり』を市民と一緒に進める」

○市長選の争点として「公共交通」を地元新聞が取り上げる

○上田市の2030年までのCO2削減目標が全国的にもレベルの高いものに（57%削減・2013年比）

○都市計画マスタープランへの好影響

○藤川が長野県交通政策局研究会の構成員に。

○上田市が環境省脱炭素先行地域事業に選定
市民参加の「交通まちづくり」が事業の柱に

環境省 脱炭素先行地域

上田市：ローカル鉄道と市民がともに支え合う「ゼロカーボン×交通まちづくり」

信濃毎日新聞2023年11月8日

住宅・事業所・ため池などで太陽光発電

車両や沿線住宅に供給

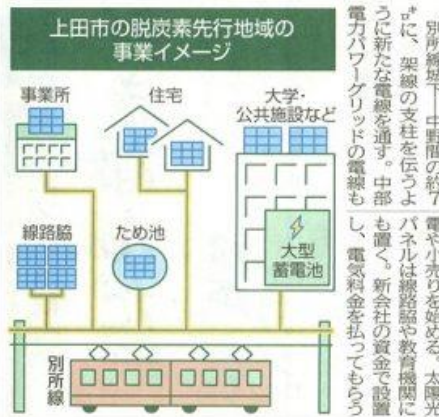


上田市下之郷を走る別所線。架線を支える柱に新たな電線を通す

環境省は、政府目標に先駆けて2030年度までの脱炭素化を目指す「脱炭素先行地域」に、上田市や市内の上田電鉄、NPO法人上田市民エネルギーなどが共同提案した事業計画を選んだ。市などが地域エネルギー（会社）を設立し、上田電鉄別所線沿線にマイクログリッド（小規模電力網）を構築。住宅や事業所、ため池などに太陽光発電パネルを設置し、別所線や沿線の住宅約2200戸などの電力を賄う。

上田市などの計画 環境省「先行地域」に

脱炭素化別所線と進め

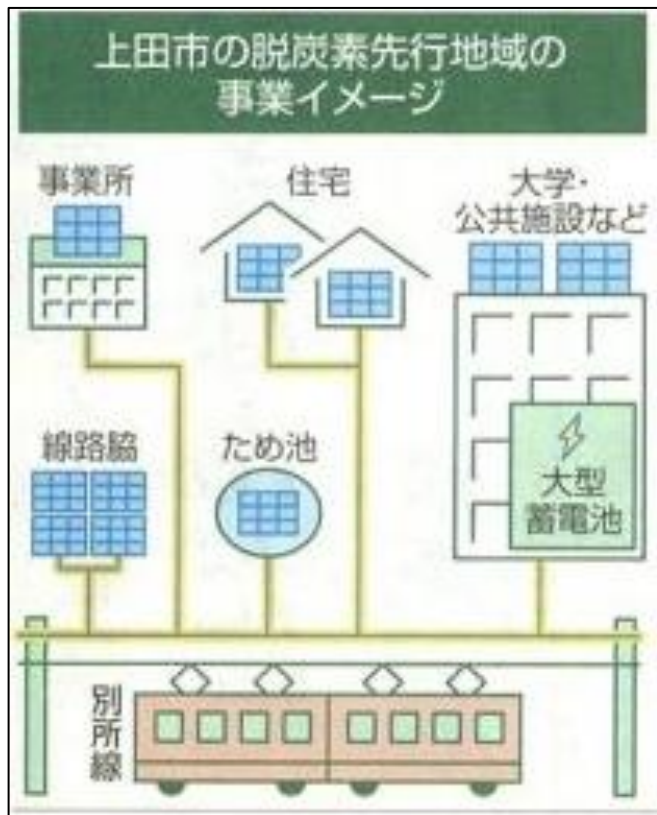


使い、沿線の太陽光発電施設と消費者の間で電力を融通。市内の長野大や市施設などに大型蓄電池を4台置き、発電量が余る昼に電気をため、不足する夜は地域に供給する。

市や共同提案企業の出資で来年度、新会社を設立し、発電や小売りを始める。太陽光パネルは線路脇や教育機関にも置く。新会社の資金で設置し、電気料金を払ってもらう



上田市下之郷を走る別所線。架線を支える柱に新たな電線を通す



上田電鉄の経営改善も事業の柱で、同社には通常料金より割安に電力を供給できる見通し。新会社は契約した住民らに別所線で使えるポイントを付与して利用を促す。

**社会はすぐには変わらない
でも 1 回の上田リバーズ会議で参加者の多くに
意識の変容が起き、共感が高まることもある**

**これを行政職員と一緒に経験したことが成果につながった
上田市各課に同志あらわる！**

- ＜変容のカギ(藤川仮説)＞
- 行政も事業者も市民も地域の多様な立場の人たちが
- 一緒に学ぶ
 - 立場を超えて少人数で対話する（3～4人）
 - 匿名で発言できる（質問やコメントはGoogle form）

冊子「上田リバーズ」も発行

上田リバーズ

上田の大危機を
乗り越えるための
5つのヒント



無料ダウンロード

ぜひ住んでいる自治体の
データを集めて
地域課題を
俯瞰してみてください

コラボ企画増加中：アート×気候変動

Shinshu Arts-Climate Camp

2023

10/1 | SUN |

13:40 ~ 16:45 (終了予定)

会場

上田映劇

(長野県上田市中央 2-12-30)

料金

一般/シニア (60歳以上)	1200円
学生 (要学生証)	1000円
高校生以下	500円

※ 会員料金、その他の割引については上田映劇の料金体系に準じます。

予約

QRコードもしくは下記
問い合わせよりお申込み
ください (当日精算)。



予約フォーム

カンヌコンペロートメディア
& TV 大賞 2020 金賞

サンパウロ国際映画祭
2019 観客賞

レインダンス映画祭
2020 最優秀撮影賞

アカデミー賞ノミネート
『シティ・オブ・ゴッド』
フェルナンド・メイレレス監督
製作総指揮作品

THE GREAT GREEN WALL

アフリカに夢を、
森をふたたび。

グレート・グリーン・ウォール

マリ北部のシリン・イン・ア・セリが指導する人々の物語。社会とアフリカ人の未来のために、気候変動の危機と闘う物語。

<第一部> 映画「グレート・グリーン・ウォール」上映

13:40 開映 15:12 終映

<ハーフタイム> 「サブニュマ」によるアフリカダンスパフォーマンス

<第二部> ディスカッション

16:45 終了予定

長野県在住のアーティストをスピーカーに招き、映画の感想をシェアします。また、気候変動危機の問題をそれぞれのアート活動にどう接点をもっていくかをディスカッションしていきます。

【モデレーター】

藤川まゆみ (NPO 法人上田市民エネルギー 理事長) ロジャー・マクドナルド (インディペンデント・キュレーター)

【スピーカー】

白井ゆみ枝 (画家・アーティスト) 佐藤公哉 (音楽家・作曲家) 竹内利彦 (サブニュマ)

○ お問い合わせ：一般財団法人長野県文化振興事業団 アーツカウンシル推進局
e-mail arts@council@naganobunka.or.jp TEL: 026-223-2111

○ 主 催：NPO 法人上田映劇 信州アーツカウンシル (一般財団法人長野県文化振興事業団)
信州大学人文学部 長野県

○ 共 催：2023 上田リバーズ会議 / 上田ビジョン研究会

文化庁
令和5年度
文化庁文化芸術創造拠点形成事業

信州アーツ・クライメート・キャンプ (会議) 第2回について

気候変動を食い止めるため、約8000キロメートルにわたり、アフリカ大陸を横断して植林を行う「グレート・グリーン・ウォール (緑の長城)」計画。不可能と思えるほど壮大なこのプロジェクトを推進するために、アフリカ横断の旅に出たミュージシャンが、各地で直面する出来事を通して、気候変動やアフリカ各地域の様々な課題が見えてきます。

Shinshu Arts-Climate Camp (会議) 第2回は、映画『グレート・グリーン・ウォール』を鑑賞し、語り合う会です。年々一層深刻な現実となる気候危機と、海外の状況。信州・長野県での「アート×気候変動」の実践を、わたしたちはどのようなビジョンで進めていく必要があるのか。映画を世界への窓に、アフリカン・ドラムのパフォーマンスとあわせて、県内在住のアーティストとの対話を通し、気候/アート/自分たちの関係を見出していきます。

コラボ企画増加中：教室断熱ワークショップ

教室断熱ワークショップ

完成間近！

日本の学校は暑くて、寒い！
毎日使う教室を、みんな断熱して
快適にしよう！

学校断熱ネットワーク信州

自治体・学校・生徒・教育委員会・工務店・事業者とコラボで実施

わたしたちの原点は相乗りくん発電所
エネルギー事業の経験と人のネットワークが土台
そこから次々と生まれた市民のアクションが
地域を変える、自分たちも変わる

